

韓国の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生状況 (2025年9月以降)

出典：韓国農林畜産食品部、環境部

2026年2月20日時点

農林水産省 動物衛生課

世宗特別自治市				
(42)	2026.2.8	-	採卵鶏	237,000羽 H5N1

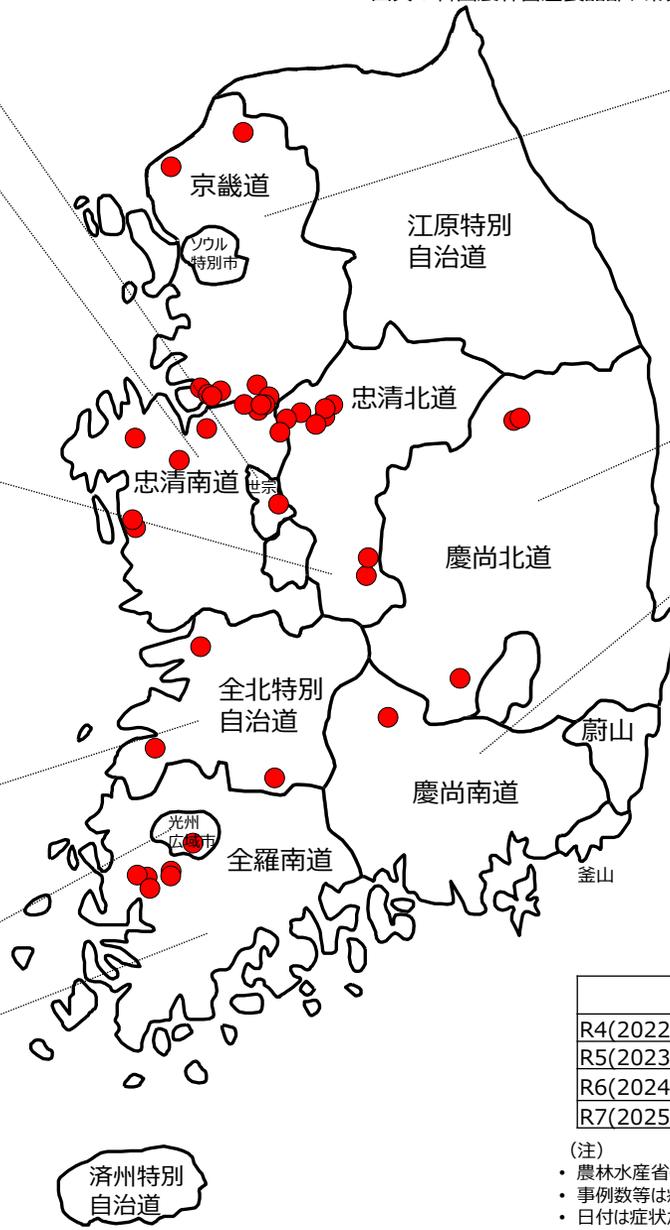
忠清南道				
(9)	2025.12.9	天安市	採卵鶏	32,159羽 H5N1
(14)	2025.12.16	天安市	採卵鶏	263,166羽 H5N1
(15)	2025.12.17	保寧市	採卵鶏	25,000羽 H5N9
(23)	2025.12.25	阿山市	肉養種鶏	21,000羽 H5N1
(27)	2025.12.29	天安市	採卵鶏	94,538羽 H5N1
(35)	2026.1.15	唐津市	採卵鶏	26,000羽 H5N1
(36)	2026.1.16	天安市	採卵鶏	82,000羽 H5N1
(38)	2026.1.20	保寧市	肉用種鶏	107,000羽 H5N9
(39)	2026.2.5	礼山郡	採卵鶏	653,000羽 H5N9

忠清北道				
(6)	2025.11.17	永同郡	種あひる	4,100羽 H5N1
(13)	2025.12.16	槐山郡	採卵鶏	243,418羽 H5N1
(17)	2025.12.21	鎮川郡	うずら	550,000羽 H5N1
(18)	2025.12.22	陰城郡	採卵鶏	85,318羽 H5N1
(25)	2025.12.28	陰城郡	種あひる	10,000羽 H5N1
(28)	2025.12.29	鎮川郡	種鶏	7,800羽 H5N1
(29)	2026.1.1	清平郡	採卵鶏	40,000羽 H5N1
(31)	2026.1.4	忠州市	採卵鶏	40,000羽 H5N1
(33)	2026.1.5	沃川郡	うずら	500,000羽 H5N1

全北特別自治道				
(11)	2025.12.14	南原市	肉用種鶏	39,764羽 H5N1
(21)	2025.12.23	高敞郡	肉用あひる	8,000羽 H5N1
(32)	2026.1.4	益山市	肉用種鶏	63,000羽 H5N1

光州広域市				
(2)	2025.10.21	南区	ガチョウ他	133羽 H5N1

全羅南道				
(8)	2025.12.8	靈岩郡	肉用あひる	20,633羽 H5N1
(16)	2025.12.19	羅州市	肉用あひる	22,245羽 H5N1
(19)	2025.12.23	羅州市	種あひる	6,000羽 H5N1
(24)	2025.12.26	靈岩郡	肉用あひる	32,900羽 H5N1
(26)	2025.12.28	羅州市	採卵鶏	49,000羽 H5N1
(30)	2026.1.2	羅州市	種あひる	8,000羽 H5N1
(34)	2026.1.8	羅州市	肉用あひる	27,000羽 H5N9
(37)	2026.1.19	谷城郡	肉用あひる	27,000羽 H5N1
(46)	2026.2.18	求礼郡	肉用あひる	29,000羽 H5N1



京畿道				
(1)	2025.9.12	坡州市	肉用鶏	3,164羽 H5N1
(3)	2025.11.9	華城市	肉用種鶏	19,550羽 H5N1
(4)	2025.11.14	平沢市	採卵鶏	138,650羽 H5N1
(5)	2025.11.16	華城市	採卵鶏	269,226羽 H5N1
(7)	2025.12.1	平沢市	採卵鶏	148,973羽 H5N1
(10)	2025.12.9	安城市	採卵鶏	26,367羽 H5N1
(12)	2025.12.15	安城市	採卵鶏	202,781羽 H5N1
(20)	2025.12.23	安城市	採卵鶏	119,136羽 H5N1
(22)	2025.12.24	平沢市	採卵鶏	263,459羽 H5N1
(44)	2026.2.16	抱川市	採卵鶏	380,000羽 H5N1

慶尚北道				
(40)	2026.2.6	奉化郡	採卵鶏	390,000羽 H5N1
(43)	2026.2.10	星州郡	肉用あひる	15,000羽 H5N1
(45)	2026.2.18	奉化郡	採卵鶏	104,000羽 H5N1

慶尚南道				
(41)	2026.2.6	居昌郡	種あひる	7,000羽 H5N1

高病原性鳥インフルエンザの発生状況

月	事例数	殺処分羽数(羽)
9月	1	3,164
10月	1	133
11月	4	431,526
12月	22	2,271,657
1月	10	920,000
2月	8	1,815,000
計	46	5,441,480

※ 飼養羽数：188,678,000羽
出典：FAOSTAT (2023年時点)

韓国の家きんにおけるHPAIの月ごとの発生件数推移

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
R4(2022)	0	3	24	29	7	6	2	4	0	0
R5(2023)	0	0	1	24	5	1	0	0	1	0
R6(2024)	0	1	4	14	12	4	8	4	1	3
R7(2025)	1	1	4	22	10	8				

(注) (動物衛生課まとめ)

- 農林水産省にて発生報告ごとに累計(予防的殺処分等は含まず)
- 事例数等は病原性が確定した事例のみ記載
- 日付は症状が確認された日または検体採取日(赤字は更新箇所及び最新情報に基づいた修正箇所)
- N亜型未記載は、未公表又は未確定。
- 低病原性鳥インフルエンザは、H5又はH7亜型であって高病原性鳥インフルエンザでないものを意味し、H9亜型等の鳥インフルエンザは含まない。
- 韓国での表記によらずカモ科の家きんはすべて「あひる」としている。

● : 高病原性鳥インフルエンザ発生地点

※ 37例目,46例目の発生地点については確認中。